

第5期 雄武町総合計画

後期実施計画書

様式1

No. 09010050

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 上沢木地区 ・事業期間 平成24年度～平成27年度(平成23年度計画樹立) ・総事業費 620,000千円(補助対象分) ・事業内容 営農用水施設(浄水場、配水管路)改修 共栄地区 ・事業期間 平成23年度～平成24年度(平成22年度計画樹立) ・総事業費 81,000千円(補助対象分) ・事業内容 営農用水施設(浄水場)改修
基本施策	1	農業の振興	事業優先度	A		
単位施策	1	土地基盤の充実	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)		
事業名	農地整備事業(畑地帯担い手支援型)		見直し年度	9 産業振興課		
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	#N/A		
事業主体	北海道		関係課	#N/A		
事業指標	営農用水施設改修		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
事業目標	2浄水場		関係例規・法令名	無		
住民参加	無		関係個別計画名	有 農業農村整備事業管理計画		
住民協働	無					

全体計画		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計画内容	<p>基盤となる農地・水・環境の保全と質的向上を図るとともに、農業が本来有する自然循環機能を支持・増進し、生活基盤施設の整備を進め、産業と生活空間の快適さを図る。</p> <p>負担区分(補助対象分) 調査設計・工事 国 45.0% 道 27.5% 町 27.5%</p>	<p>上沢木地区</p> <p>24線越 補助分 380,000千円 事業費 合併分 12,460千円 25一般 補助分 130,000千円 事業費 合併分 151,300千円 事業費 合計分 423,760千円</p> <p>事業量 管路 L=1,165m 事業量 浄水場上屋 1棟 事業量 浄水場機械、電気計</p>	<p>上沢木地区</p> <p>事業費 補助分 100,000千円 事業費 合併分 3,050千円 事業費 合計分 103,050千円 事業量 管路 L=3,980m 事業量 配水池1箇所</p> <p>単独事業 事業費 4,760千円 事業量 調査設計 L=2,100m</p>	<p>上沢木地区</p> <p>事業費 補助分 70,400千円 事業費 合併分 2,800千円 事業費 合計分 73,200千円 事業量 管路 L=2,361m</p> <p>単独事業 事業費 16,000千円 事業量 管路 L=2,100m</p>	<p>単独事業 事業費 9,620千円 事業量 調査設計 L=4,385m</p>	<p>単独事業 事業費 33,200千円 事業量 管路 L=4,385m</p>	
			55000 6087 61087 45815	27500 3043 30543	11000 1217 12217	5500 609 6109	
計画事業費	事業費(千円)	242,800	126,510	35,310	38,160	9,620	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	71,500	24,700	27,500	19,300		
その他	1,000			1,000			
一般財源	170,300	101,810	7,810	17,860	9,620	33,200	
実績事業費	事業費(千円)	155,898	118,259	37,639	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	22,100	7,700	14,400			
その他	0						
一般財源	133,798	110,559	23,239				
関連事項	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	農地整備事業債 受益者分担金	上沢木地区 浄水場整備 管路布設	上沢木地区 管路布設				
	【評価・実績】	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	管路 L=1,165m	管路 L=3,980m	管路 L=2,361m	調査設計 L=4,385m	管路 L=4,385m
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	93%	107%	0%	0%	0%
	全体達成率	49%	64%	64%	64%	64%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆				

事業名	農地整備事業(畑地帯担い手支援型)	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	農務係長	南 慎一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	営農用水受益者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	浄水場等の改修	
【抱える課題やニーズは】	上沢木浄水場の老朽化・配水管の小径に伴う流量不足	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	上沢木浄水場の改築、新配水管路の布設	① 浄水場等の改修箇所数	目標年度	平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安定した水の供給		目標値	1箇所
			実績値	1箇所
			達成度	100.0%
		②	目標年度	平成26年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	上沢木浄水場の改築、新配水管路の布設	北海道の工事発注により、上沢木浄水場・配水管路の一部が更新された。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	施設の老朽化や能力不足等により不具合が発生しており、営農用水施設の安定的かつ良質な水の供給を図るため、必要な事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	道営事業により整備を図っており、計画どおり事業が進捗している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	道営事業であり、事業担当者との協議を重ね、事業費抑制に努めている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	地域農業の振興や生活基盤の整備を図る事業であり、施設の維持管理費は水道利用組合組合員が負担していることから、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり事業が進捗されており、事業が完了するまでは行政において実施する必要がある。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
酪農経営の安定化には、良質な水の供給が不可欠であり、引き続き最優先すべき事業と判断し、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止